

2019年度京都府理学療法士会 定時総会議事録

日時：2020年6月28日（日）14：00～14：40

場所：京都橘大学 明優館2階D202教室

議長：麻田博之会長

書記：東佐登美（佛教大学）

はじめに：苅谷事務局長より開会挨拶

●2019年度士会会長賞の表彰について、今年は新型コロナ感染拡大防止のため、対面では行わず、表彰状の送付をもって表彰とさせていただきます。

本年度対象10名（苅谷事務局長より氏名の読み上げ）

村上貴士氏（生涯学習部）・小西通晶氏（新人発表部）・平本真知子氏（新人発表部）・阿部由平氏（北部研修部）・勝田光一氏（保険部）・辻智香子氏（保険部）・鈴木英嗣氏（保険部）・橋本裕一氏（保険部）・中川智明氏（保険部）・井元哲郎氏（業務推進部）

●定足数の確認（苅谷事務局長より）

総会員数 2,603名（2020年6月26日現在）

総会員の議決権の数 2,603 個

出席会員数12名、委任状1,423名、議決権行使 241名 計：1,676名（過半数：1,302名）

以上の通り総会成立の必要数を満たす。

議長の成立宣言により議事に入る。

第一号議案 2019年度事業報告審議

会長報告

2019年度事業は各部事業の遂行・委員会の立ち上げ等概ね予定通りに実施されたが、年度末の2月3月は新型コロナウイルス感染対策にて延期や中止を強いられる事業もみられた。

50周年記念式典 ⇒2021年11月28日（日）に延期 会場：リーガロイヤルホテル京都事務局、社会局、学術局報告

苅谷事務局長、江平社会局長、堀江学術局長より各局事業について報告

事務局：（苅谷事務局長より）総務部、財務部、広報部 各部の報告

社会局：（江平社会局長より）保険部、業務推進部、公益事業部 地域包括ケア推進部、災害対策部、各部の報告 各部特に問題なく予定事業執行の報告

生涯学習部：（堀江学術局長より）生涯学習部、新人教育部、新人発表部、北部研修部、会誌編集部、学会部 各部特に問題なく予定事業執行の報告

委員会：（麻田会長・関理事・中本理事・苅谷理事より）各委員会の活動報告

ブロック局 各地域での活動を推進

就業フェア：2020年10月14日⇒今年度、コロナ禍においての方法を検討中

※ 1号議案に対する質問 ⇒ なし

【第一号議案について、挙手にて承認】

第二号議案 2019年度決算報告

苧谷事務局長、2019年度決算について報告

50周年の予算は、来年度に持ち越し

今年度は、コロナ禍にて、1月以降予算執行が滞っている。

※ 2号議案に対する質問

鶴谷新理事 ⇒ 会館設立基金はどの程度（いくら？）を目指しているのか？

麻田会長より回答 ⇒ 以前にも同様の質問を受けたことがある。

事務所設置の経緯と会館設立の諸問題等の説明。

実際に事務所の所有を考えると5000万円以上が必要と思われる。

当法人の活動からも1階であることが望ましいこと、会員が今以上に利用しやすい事務所設置が望ましいと考えている。

苧谷事務局長より回答 ⇒ 公益法人では積立金の積み立て年数が決められているが、一般法人においては年数の制限は決められていない。

【第二号議案について、挙手にて承認】

第三号議案 京都府理学療法士会役員選出

4月6日告示、4月20日立候補届出終了したところ、会長1名、理事17名、監事2名の立候補があり、定数以内につき選挙はないことが説明され、下記立候補者について承認可決された。

●会長立候補者

麻田 博之（蘇生会総合病院）

●理事立候補者

安彦 鉄平（京都橘大学）

井上 直人（京都医療センタースポーツ医学センター）

梅田 匡純（京丹後市立弥栄病院）

江平 知子（聖ヨゼフ医療福祉センター）

苧谷 康之（西陣病院）

小寺 翔馬（蘇生会総合病院）

佐藤 文寛（京都第一赤十字病院）

関 恵美（京都民医連あすかい病院）

田後 裕之（京都岡本記念病院）

建内 宏重（京都大学大学院医学研究科）

田村 篤（洛西シミズ病院）

鶴谷 啓明（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション城陽）

中本 隆幸（京都きづ川病院）
南角 学（京都大学医学部附属病院）
西村 純（済生会京都府病院）
阪東 美可子（（一財）宇治市福祉サービス公社）
堀江 淳（京都橘大学）

●監事立候補者

市橋 則明（京都大学大学院医学研究科）
伊藤 清弘（岸本病院）

●任期満了につき退任される理事 2名

池添 冬芽（京都大学大学院医学研究科）
石井 光昭（佛教大学）

【第三号議案について挙手にて承認】

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

報告事項

1. 監査報告

2019年度の事業は、完了したものと認めます。

監査結果は総会資料最終ページをご確認下さい。

2. 2020年度事業計画案報告

事務局、社会局、学術局の事業計画案の概要説明
（麻田会長より）

日本理学療法士協会の方針に準じて当士会でも前年度・今年度の事業遅滞に伴う余剰金の取り扱いを検討する。会費の返還ではなく、今後の事業の充実、Web環境強化などの費用に充てて会員の皆さんへ還元したい。研修会事業が会の事業ではなく、会員管理や情報発信、コロナ禍での新たな事業展開も視野に入れなければいけないことをご承知いただければと思っている。

3. 2020年度予算案報告

荻谷事務局長より予算案の説明

新入会員の申し込みは現時点で80名程度と例年よりかなり少ない。

（例年であれば、200名程度） 各施設で声掛けをお願いしたい。

【質疑】

<地域局への質問>：清水 PT（京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター）

⇒回答：田後理事

質問① 2019年度は“ブロック化検討委員会”であり、2020年度は“地域局”となったと

理解していいか？経緯が記載されていなかったなので、確認したい。

⇒回答：・第9回理事会議事録に記載のとおり、ブロック化検討委員会(担当 阪東理事)は2019年度事業として完結しております。

2020年度については地域局を新設(局長 田後)しブロック化に取り組んでいきます。

質問② 2019年度の“ブロック化検討委員会”では、京都市南区での調査を行ったとあるが、南区を対象とした調査を行った理由は何か？

⇒回答：・種々企画・検討してきた担当委員の所属が南区であった。

・ブロック化意識調査+多職種連携意識調査の側面もあり、
あえてリハ職が少ない南区での実施をモデル的に行った。

2020年度地域局ブロック化事業については5月号NOWに目的、方向性、達成目標、進め方(既存団体、グループと連携)を掲載しています。ご一読ください。

<スポーツ委員会への質問>：金村PT(京都地域医療学際研究所がくさい病院)

⇒回答：西村理事

質問① 昨年スポーツ委員会が立ち上げられましたが、委員会としての活動の方針をお聞きしたい。

⇒回答：委員会活動開始1年目であり手探りの状態で活動を行ってきました。

今年度は今まで行ってきた日本理学療法士会との協力事業を基に京都府理学療法士会で独自に活動を開拓していく予定です。

質問② スポーツ関連の事業に対して積極的に広報がされていないように思われる。

スポーツ関連の講習会の計画などの研修活動も含めて、今後の活動の予定を聞かせて頂きたい。

⇒回答：会員への活動などの広報が十分に行われなかったことは申し訳ありませんでした。事業内容を確立し広報も含め定期的なアピールが必要と考えております。

スポーツ関連の研修活動などにおいては今後検討していく予定です。

ちなみに2019年度の活動において、JSTARプロジェクトとして行われた障害者スポーツ選手の体力・競技力測定会(9月)については、
ホームページで一般会員に参加を募り、ラインでも案内・参加要請を行っております。

質問③ 委員の募集などは公募など来るだけオープンな活動にして頂きたい。

⇒回答：昨年度は、委員会としての立ち上げであったことから、一般会員から委員を募ることは行なっておりませんでした。今後、会員にもどのような形でご協力いただけるかを検討し、活動を広げていきたいと思っています。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、14時40分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事がこれに記名押印する。

令和2年6月28日

一般社団法人京都府理学療法士会理事会

代表理事.....

理事.....

理事.....

理事.....

理事.....

理事.....

理事.....